



市子連だより

平成26年9月

発行 小田原市子ども会連絡協議会 発行責任者 橋本輝夫

編集担当 広報委員会 委員長 穂坂

北條五代祭り

5月3日(土・祝)

今年も5月3日(土・祝)に「北條五代祭り」が開催され私も8回目の出演です。

50回目の開催を記念して武者行列には、小田原ふるさと大使4人が歴代城主に扮して参加しました。初代早雲に阿藤快さん、三代氏康に柳沢慎吾さん、四代氏政に鎧塚俊彦さん、五代氏直に小宮孝泰さんが扮し、騎乗して武者行列に参加しました。

銅門広場での出陣式の時に直ぐ隣に早雲役の阿藤さんが居たのですがテレビで見るよりとても大きいです。こんな人とは、戦いたくないですね。ちょっと離れたところに氏康役の慎吾ちゃんが居ましたがしゃべっていないと雰囲気も違ってきますね。

これらのふるさと大使の面々に負けないくらいに「少年少女武者隊」の総勢100名は、今年も元気に歩いてくれました。勝ち鬨も今年は、事前にスタッフと調整して隊列変形もバッチリ決まり格好良かったです。「エイ、エイ、オー!!!」

(侍大将より)



チャレンジアンドトライ

7月5日(土)・6日(日)

各学区の6年生男女1名ずつの参加による、青少年交流事業「チャレンジ アンド トライ」も、今年で3年目となりました。今回は、厚木市子連の皆様のご厚意により、厚木市にある宿泊・研修施設「七沢自然ふれあいセンター」を会場として実施しました。とても過ごしやすい環境で、一泊二日を過ごし、初めて出会った子どもたちも、次第に打ち解け、交流を深めることができました。

主な活動を子どもたちの感想とともに紹介します。

アクティビティー

体と頭をフルに使い、仲間と協力する大切さを体験することができました。



- ・グループのいろんな人と協力してできたので良かったです。1番にはなれなかったけど男女みんなと仲良くできた
- ・自然をこわしたら同じようには戻せないというのがわかりました。
- ・最初は簡単ななーと思っていたけど、意外と言葉で伝えるのは難しく大変だった。

学校紹介

それぞれの通っている小学校について、特色のある行事などについて紹介しあいました。



- ・学校紹介では、色々な友達がいる学校のよさを知る事ができて良かったですし、またみんなの学校に行きたいと思いました。
- ・学校紹介で、みんなの小学校の児童数や色々な事がわかってよかったです。

K Y T

具体的な場面を想定し、危険を回避するために、どんなことに気をつければよいかを真剣に話し合いました。



- ・K Y Tで危険予知のことについてわかりました。僕も危険な状況になったことがあるので、これからは、危険な事になる前に避けたいです。
- ・K Y Tでやったことを実際にお風呂で生かされたので良かったです。これからも周りの人のことを考えて、行動しようと思います。

役割分担

食事、就寝、健康など、一泊二日を安全に楽しく過ごすため、それぞれの役割に責任をもって、みんなのために頑張りました。



- ・僕は、食事係でした。みんなで役割を分担することは、家ではあまりやっていないけど、これからは家でもやろうと思いました。
- ・初めてみんなと会ったとき、副班長に決められてびっくりしました。でも今だと自信を持ってみんなの前に出る事ができます。

家から遠く離れて、初対面の仲間との共同生活、子どもたちの感想からもわかるように、みんな仲良く協力することで貴重な体験ができたようです。天候にはあまり恵まれませんでしたでしたが、山あいの自然も満喫することができました。

市役所までの送迎をしてくださった保護者の皆さまをはじめ、関係の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。来年度もより良い活動ができるよう、役員一同、知恵を絞って頑張ります。

前期育成者・指導者研修会

安全教育推進事業

去る5月11日（日）、小田原アリーナにおいて、平成26年度前期子ども会育成者・指導者研修会、及び安全教育推進事業が開催され、各学区・単位の指導者・育成者約200名が参加しました。

小田原市子連の育指研と言えば「アイスブレイキング」と答えが返ってくるほど定番の行事になりましたが、これまでも「これからの子ども会活動にすぐ使える」と大変好評でした。今年も簡単なハンドゲームから、じゃんけんをアレンジしたゲームや大きな輪になって楽しむゲームなどを行い参加者同士の垣根を取り払いました。

雰囲気がほぐれたところで次のプログラム。今年で3回目を迎えた夏の行事「チャレンジアンドトライ」では子どもたちのコミュニケーション能力や問題解決能力、観察力などを刺激するさまざまなプログラムを行っていますが、学区や単位の子ども会活動でもそういったアクティビティを取り入れていただこうとその一端を皆さんにも体験していただいたのです。今回のアクティビティはフラフープくぐり。20人ほどのグループが円を作り、手をつなぎます。手を離さずにフラフープを一周させるのにどのくらいかかるか、目標タイムを設定しトライします。一回やってみた後、どうしたらもっとタイムをよくすることができるか、あるいは目標タイムに近づけることができるか、グループごとに話し合いをして知恵を出し合います。ここがこのアクティビティのポイントで、参加者がお互いにコミュニケーションをとることによってグループが一つにまとまりより高い目標に向かうようになることが大切です。今回、指導者の皆さんもグループごとに一致団結し、二回目は一回目よりも良いタイムでクリアできました。

安全教育推進事業では、事前に事故を防ぐためのKYT（危険予知トレーニング）や事故（けが）が発生した場合の救命救急活動など、子ども会活動中のけがや事故を防止するのに必要な知識を学びました。使用したKYT用の教材は小田原市子連が独自に作成し、様々な研修会で利用しているものです。また、会長からは子ども会の仕組みや役割についての話があり、初めて指導者の立場で子ども会活動に参加する場合でも、あまり難しく考えずに子どもたちのために自分のできることを楽しくやろうという話がありました。

本研修会で指導する講師については、以前は一部の研修について外部から招聘していたのですが、今では全ての研修について研鑽を積んだ市子連役員が企画から実践まで全て賄うようになりました。



橋本会長のあいさつ



アイスブレイキング



フラフープくぐり



KYTについて

夏休み映画鑑賞会

平成26年度映画鑑賞会は、7月19日(土)小田原市民会館大ホールで開催しました。

夜空を貫く正義の弾丸! その眼に映る禁断の謎!!と銘打った「名探偵コナン 異次元の狙撃手(スナイパー)」を上映しました。

高さ635m、その日本一の高さを誇るベルツリータワーからの絶景を楽しんでいたコナンたち。ふと、遠く離れた場所で一瞬の閃光! 次の瞬間、ライフル弾がガラス窓を突き破り、男の胸を貫通した! 日本で前例のない事件に、警察とFBIがタッグを組み、超巨大捜査線を張る。

その弾丸は、常識を覆すほどの驚異的な距離から放たれていたことが判明、そしてその狙撃ポイントにはライフルの空薬きょうと4の目のサイコロがひとつ残されていた。その意味とは。

果たしてスナイパーの策略の先にある目的とは何なのか?

皆さんの推理はいかがでした?

また、今年フィルム上映からデジタル上映になりました。

デジタル上映は、従来のフィルム上映とは違い、映像や音声はデジタルデータ化されているので、品質劣化がありません。

クリアな画像と鮮明な色彩、迫力ある音響など、デジタルシネマの醍醐味を味わえたことと思います。

人気のコナン作品であり、多数入場していただきました。

ありがとうございました。

おだわらしこれん えいがかんしょうかい 小田原市子連 映画鑑賞会

めいたんてい
名探偵コナン
いしげん スナイパー
異次元の狙撃手

やる日 平成26年7月19日(どようび)

ばしょ 小田原市民会館大ホール

いりきりょう 500円

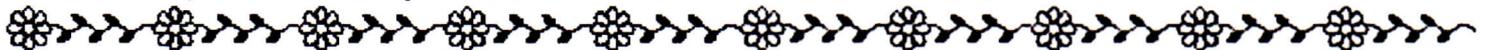
じかん 1回目 9:30~11:20 (赤色の券)
2回目 12:00~13:50 (青色の券)
3回目 14:30~16:20 (黄色の券)



入場券は、みんなの子ども会の役員さんにたのんでね!



お知らせのためにみなさんに配布したチラシです。



市子連は、市内23学区、138単位子ども会との連携をはかり、各種研修や行事の実施、関係機関との連絡調整などを行っています。市子連役員は、学区連合子ども会育成会会長や役員を経験した人を中心に各学区から推薦され、ボランティアとして活動しています。

☆今後の主な行事☆

【ふれあい子どもフェスティバル】

開催日:平成26年11月29日(土)

会場:小田原アリーナ(メインアリーナ)

対象:子ども会会員(小学生1~6年生)

内容:スポーツ・ゲーム・作品展示

【インリーダー研修会】

開催日:平成27年1月24日(土)

会場:小田原市役所(大会議室他)

対象:子ども会会員5年生

内容:検討中

役職	氏名	出身学区	平成二十六年 小田原市子ども会連絡協議会(市子連) 役員紹介
会長	橋本 輝夫	酒匂	
副会長(事務局長兼任)	島田 文子	芦子	
副会長	穂坂 明範	久野	
副会長(会計兼任)	本多 茂	酒匂	
事務局次長(会計兼任)	石塚 靖夫	国府津	
書記	飯岡 直美	桜井	
書記	石井 園子	三の丸	
安全共済会	富樫 栄広	早川	
安全共済会	石川 聡之	矢作	
監査	佐藤 和久	国府津	
監査	佐藤 政則	曾我	